



## EXE-i シリーズについてのよくある質問(FAQ)

### 1. EXE-iシリーズについて

質問	組み入れ ETF の本数、比率はどのように決めていますか？
回答	EXE-iシリーズの投資助言会社であるモーニングスター・アセット・マネジメント株式会社(以下、投資助言会社)が米国モーニングスター社の有する世界のETFのデータベースを活用し、ETFの指数との連動性、流動性、総経費率等を勘案しながら、定性・定量的な分析を行い、当社で最終的に決定しています。

質問	より低コストのETFが新設されたら、組み入れファンドを入れ替えるのですか？
回答	コストの低さだけではなく、ETFの指数との連動性や流動性を含めて最終決定します。例えばETFの入れ替えにより、参考指標とのさらに高い連動性が期待できれば、入れ替えを検討します。

質問	組み入れETFの償還リスクはありますか？また、償還した場合はどうなりますか？
回答	現在組み入れ予定のETFは、流動性、ファンド規模などを勘案して選択していますので、ETFの償還リスクは比較的低いと考えています。償還が決定した場合は、投資助言会社と連携して、ETFの入れ替えをすることになると考えられます。

質問	EXE-iシリーズのファンドは今後増えていきますか？
回答	EXE-iシリーズのコンセプトに沿った、低コストで長期の資産運用に適したファンドを、投資家の皆様のニーズをくみ取り、提供していきたいと考えています。

### 2. EXE-iシリーズのご購入について

質問	EXE-iシリーズは、どこの販売会社で購入できるのでしょうか？
回答	当初は株式会社SBI証券(以下、SBI証券)でのお取扱いのみですが、現在複数の販売会社に商品提案を行っています。お取扱いいただける販売会社が増えた場合には逐次、当サイトにてお知らせいたします。

質問	EXE-iシリーズはSBI証券の「投信マイレージサービス(SBIポイントの付与)」の対象ですか？
回答	EXE-iシリーズでは、投資家の皆様に間接的にご負担いただく信託報酬を可能な限り低減させたため、当サービスの適用対象外となります。ただし、SBI証券にて、①当初募集期間(4月8日～5月10日まで)に一定額以上お申し込みの方に対するキャッシュバック(またはSBIポイント付与)②設定日直後(5月13日)より一定期間内に、積立を一定額以上お申し込みの方に対するSBIポイント付与を予定しています。詳細については、募集開始日の2013年4月8日(月)以降に、SBI証券のウェブサイトをご参照ください。

### 3. EXE-iシリーズと他の類似商品との違いについて

質問	EXE-iシリーズのファンドを購入する場合と、EXE-iが組み入れている海外ETFを直接購入する場合では、コストが安くなるのはどちらでしょうか？
回答	<p>EXE-iシリーズに組み入れ予定のETFは、国内証券会社経由では購入できないものもあり、EXE-iシリーズと同じ組み合わせのETFを直接購入するのは難しい場合があります。唯一、EXE-iシリーズの中で、EXE-i先進国債券ファンドで組み入れ予定のETFは2本とも国内証券会社で購入可能なので、①EXE-i先進国債券ファンドを購入して1年後に売却する場合と、②EXE-i先進国債券ファンドが組み入れている海外ETFを購入して1年後に売却する場合を比較してみたいと思います。</p> <p>以下の表1は、購入時は円貨から円建てのEXE-i先進国債券ファンド、米ドル建てETFをそれぞれ購入するものとし、売却時は全て円貨に戻すと想定した場合の例です。</p> <p>このシミュレーション結果によれば、①EXE-i先進国債券ファンドは、②海外ETFに対し、コスト面で大きな優位性があると言えます。</p>

【表1】

#### EXE-i先進国債券ファンド、海外ETFのコスト比較について

<前提条件>

－投資対象①	EXE-i先進国債券ファンド(以下、EXE-i)
－投資対象②	海外ETF(EXE-iが投資する2つのETF) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バンガード 米国トータル債券市場ETF(以下、BND)</li> <li>・ i シェアーズ S&amp;P シティグループ世界国債(除く米国)ファンド(以下、IGOV)</li> </ul>
－投資シミュレーション期間	1年
－投資シミュレーション金額	432,674円
－購入・売却チャンネル	SBI証券
－購入・売却方法	円貨で購入、円貨で受取り
－売買株数(購入金額)	BND 30株、IGOV 20株(総額432,674円)
－EXE-i販売手数料	なし(ノーロード)
－EXE-i信託財産留保額	なし
－ETF売買時の取引手数料	1取引当たり26.25米ドル
－ETF売買時の為替手数料	1米ドルにつき25銭
－資産価格、為替レート	不変(BND=83米ドル、IGOV=100米ドル、1米ドル=95円)
－EXE-iの資産組入比率	BND60%、IGOV40%
－ETFの総経費率	BND年0.10%、IGOV年0.35%(加重平均年0.20%)
－EXE-iの信託報酬	年0.2415%
－EXE-iの実質的な負担	年0.4415%

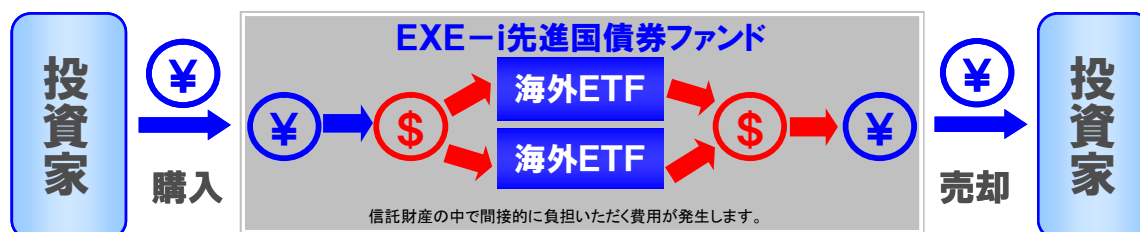
- ※ EXE-iのコスト負担額合計には、投資者が信託財産で間接的に負担する費用のうち、「その他の費用及び手数料」が含まれていません。
- ※ 海外ETFの総経費率は過去1年間の実績値であり、投資者の投資期間によって異なります。
- ※ 本シミュレーションは、一定の前提を置いた上で、1年間保有した場合のコスト負担額を試算したものであるため、購入金額や保有期間によって、投資者毎に異なります。実際の投資信託の運用においては、信託報酬以外の費用が発生しうることから、詳しくは目論見書の「ファンドの費用」欄をご参照下さい。

	①投資信託 EXE-i 先進国債券ファンド	②海外ETF (BND、IGOV)
<b>購入時</b>		
取引手数料 + 為替手数料	0円	合計6,124円
<b>運用期間中(1年間)</b>		
保有時に継続的に かかる費用等	1,910円 (※信託報酬を含む実質的な負担 年0.4415%)	865円 (※各ETFの総経費率の加重平均 年0.2%)
<b>売却時</b>		
取引手数料 + 為替手数料	0円	合計6,096円
コスト負担額合計	総額1,910円(0.4415%) ※()内は投資金額に対する比率	総額13,085円(3.0242%) ※()内は投資金額に対する比率

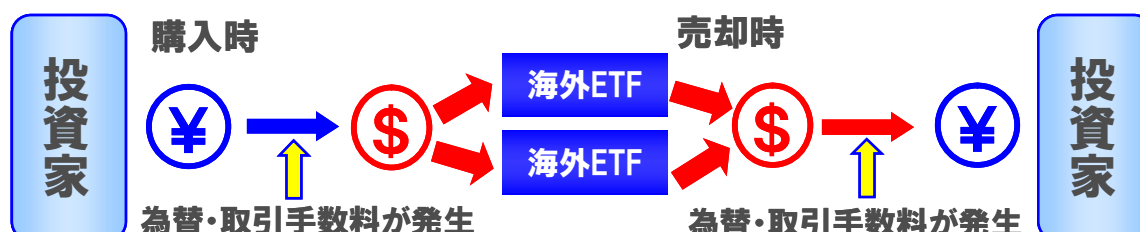
は優位性のある項目

## 投資スキーム(イメージ)

### ①EXE-i先進国債券ファンドに投資し、売却する場合



### ②海外ETFに投資し、売却する場合



質問	EXE-iシリーズ、他社の提供するインデックスファンドシリーズ、海外ETFでは、それぞれ購入・売却時の手数料・コスト、購入方法等にどのような違いがありますか？
回答	以下の表2をご覧ください。EXE-iシリーズは手数料・コスト、購入方法等の両面において、インデックスファンドシリーズや海外ETFよりも優位性があると言えます。

【表2】

EXE-iシリーズ、インデックスファンドシリーズ、海外ETFの比較

	EXE-iシリーズ	インデックスファンドシリーズ	海外ETF
<b>手数料・コスト</b>			
口座開設	◎ 投資信託口座を無料で開設可能	◎ 投資信託口座を無料で開設可能	○ 投資信託とは別の外国証券口座の開設が必要だが、口座管理料は無料(SBI証券の場合)
購入時手数料	◎ 全5ファンドが無手数料(ノーロード)	○ 無手数料(ノーロード)の場合も多いが、販売チャネルによっては手数料が発生 0%~3.15%(平均1.00%) 目論見書記載の上限の料率(※1参照)	△ 1回の取引ごとに取引手数料が発生 海外ETFの取引にかかる手数料は、1取引当たり26.25米ドル(1,000株まで)となる(SBI証券で取引を行った場合)
為替手数料	◎ 直接負担なし(但し、その他の費用及び手数料として信託財産から差し引かれる)	◎ 直接負担なし(但し、その他の費用及び手数料として信託財産から差し引かれる)	△ 円貨から外貨(米ドル)、外貨(米ドル)から円貨に変更する場合、為替手数料が発生
信託報酬(管理報酬)	○ 0.3515%~0.5315%(平均0.4543%)	△ 0.3885%~0.89145%(平均0.5664%) (※1参照)	◎ 0.0375%~0.99%(平均0.4918%) (※2参照)
信託財産留保額	◎ 全5ファンドが信託財産留保額なし	○ 0%~0.3%(平均0.138%) (※1参照)	◎ 基本的に発生しない
売却時手数料	◎ 全5ファンドが無手数料(ノーロード)	◎ 全38ファンドが無手数料(ノーロード) (※1参照)	△ 1回の取引ごとに取引手数料が発生 海外ETFの取引にかかる手数料は、1取引当たり26.25米ドル(1,000株まで)となる(SBI証券で取引を行った場合)
<b>購入方法等</b>			
購入金額(最低投資単位)	◎ 1万円から購入可能	◎ 1万円から購入可能	- 単元株による
申込単位	◎ 1口1円単位で申込可能	◎ 1口1円単位で申込可能	○ 10株単位~
積立投資の有無	◎ 毎月500円から可能	◎ 毎月500円から可能	△ 積立投資は基本的に不可
損益通算税額控除	◎ 特定口座で損益通算可能	◎ 特定口座で損益通算可能	○ 外国税額控除制度の適用有り

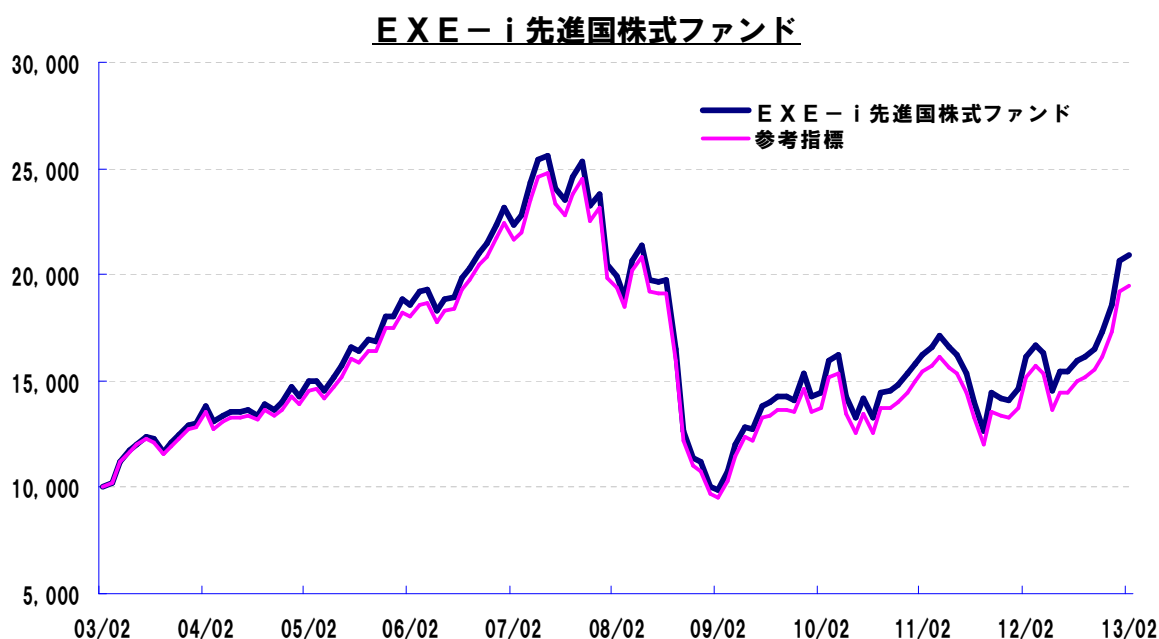
◎は優位性のある項目

(※1)モーニングスター社のデータベースより、モーニングスターカテゴリが付与されているファンドのうち、一般社団法人投資信託協会の分類で資産複合型を除いたインデックスファンド(除く DC、SMA、ETF)を対象に集計。「インデックスファンドシリーズ」とは、同一ブランド名でEXE-i同様5本以上のインデックスファンドを運用する以下の4シリーズのことを指す(eMaxisシリーズ、野村インデックスFシリーズ、SMTインデックスFシリーズ、年金積立インデックスFシリーズ、2013年2月末現在)。

(※2)モーニングスター社のデータベースより、SBI証券、マネックス証券、楽天証券で購入可能な海外ETFのデータを集計(2013年2月末現在)。

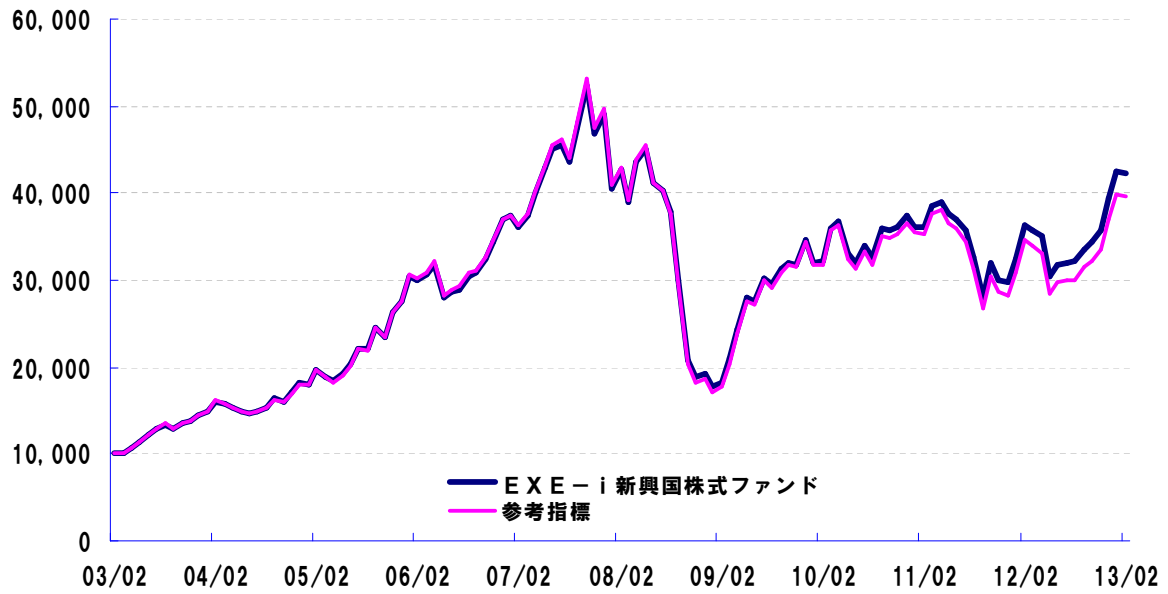
#### 4. EXE-iシリーズの各ファンドと参考指標との連動性について

質問	ETFを複数組み合わせたEXE-iシリーズは、一般的なインデックスファンドのように、参考指標と連動しますか？
回答	投資助言会社と共同で行った過去のデータを用いた検証において、EXE-iシリーズの各ファンドは、以下のグラフのとおり、参考指標と概ね同じ動きをしており、参考指標との連動性は高いと考えられます。



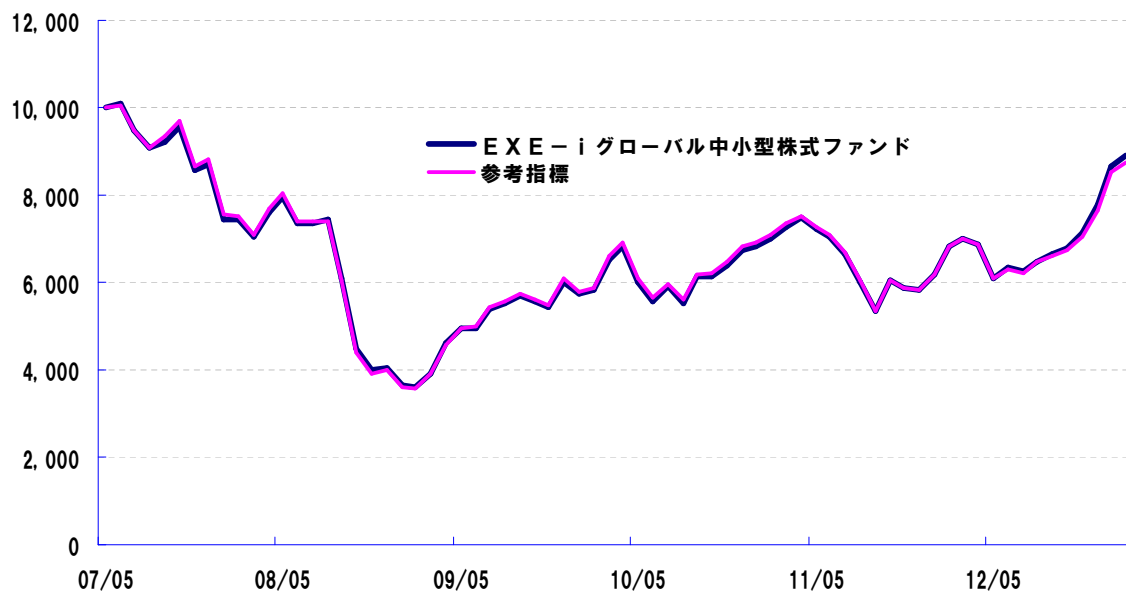
(注) 組み入れETFを基本投資割合で運用した場合の合成指数(リバランス年1回で試算)で2003年2月末を10,000とした場合のバックテスト結果  
 参考指標は、MSCI KOKUSAI(コクサイ)・インデックス(米ドルベース)を円換算したもの

### EXE-i 新興国株式ファンド



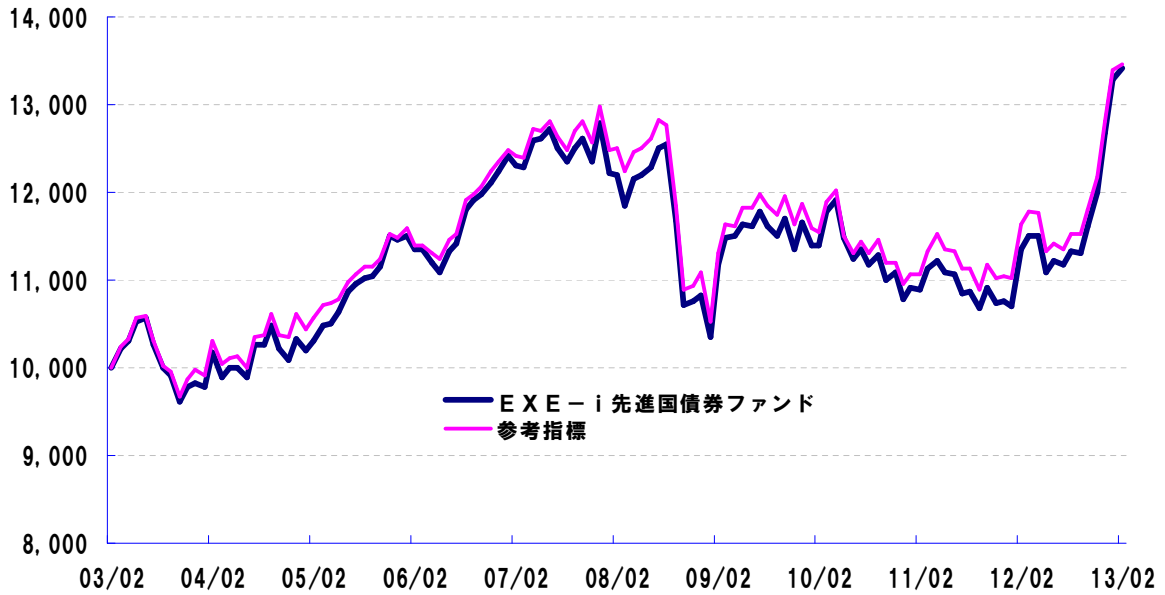
(注) 組み入れETFを基本投資割合で運用した場合の合成指数(リバランス年1回で試算)で2003年2月末を10,000とした場合のバックテスト結果  
 参考指標は、FTSE・エマージング・インデックス(米ドルベース)を円換算したもの

### EXE-i グローバル中小型株式ファンド



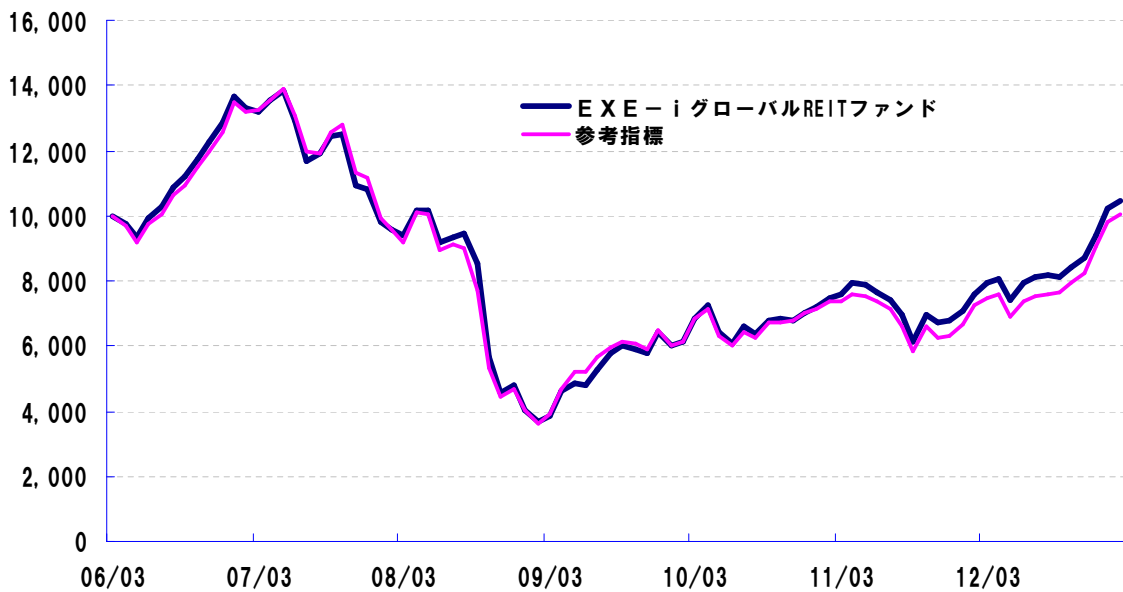
(注) 組み入れETFを基本投資割合で運用した場合の合成指数(リバランス年1回で試算)で2007年5月末を10,000とした場合のバックテスト結果  
 参考指標は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ(米ドルベース)を円換算したもの

### EXE-i 先進国債券ファンド



(注) 組み入れETFを基本投資割合で運用した場合の合成指数(リバランス年1回で試算)で2003年2月末を10,000とした場合のバックテスト結果  
 参考指標は、シティグループ世界BIG債券インデックス(米ドルベース)を円換算したもの

### EXE-i グローバルREITファンド



(注) 組み入れETFを基本投資割合で運用した場合の合成指数(リバランス年1回で試算)で2006年3月末を10,000とした場合のバックテスト結果  
 参考指標は、S&P先進国不動産指数(米ドルベース)を円換算したもの

(出所): Bloomberg、Morningstar Direct、CRSP、Citi、S&P、MSCI のデータを元にモーニングスター・アセット・マネジメントが作成

#### ●当資料に関する留意点

- ・当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・当資料の数値等はあくまでも過去のものであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。